

# 日持ち性に優れ食味良好な「モモ福島 17 号」の育成

福島県農業総合センター 果樹研究所 栽培科

## 1 部門名

果樹－モモ－育種・選抜

## 2 担当者名

三田村諭、岡田初彦、芝祥太郎

## 3 要旨

本県のモモの生産振興と経営の安定を図るためには「あかつき」に偏重した品種構成の改善が必要である。また、近年、モモの輸出量が増加しており、輸出にも対応できる品種も求められている。本試験では、品質の優れた中・晩生品種の選抜を目標として、「ゆうぞら」と同時期の収穫で食味が良好であり、日持ち性に優れ輸出にも対応できる特性を持つ「モモ福島 17 号」を育成した。

- (1) 開花盛期は 4 月 17 日で「ゆうぞら」より 1 日早い。花粉は有る。開花盛期から収穫盛期までの成熟日数は 136 日であり、収穫盛は「ゆうぞら」より 3 日遅い。
- (2) 果実品質は、果形は円～偏円形で、果肉は乳白色、果皮着色は無袋栽培ではやや不良である。果肉内紅色素はほとんど入らず、蜜入りはやや見られる。外部裂果は年により見られるが、有袋栽培ではほとんど発生しない。2014～2019 年の過去 6 か年における平均果重は 352 g、平均糖度は 15.3° Brix、pH は 4.6 である。果肉が硬く果汁はやや少ないが、甘味多く、食味は良好である。香りは強くない。
- (3) 貯蔵による硬度推移は、常温保存、冷蔵保存ともに「ゆうぞら」よりも高く保たれており、日持ち性に優れた。また、「モモ福島 17 号」は収穫後のエチレン発生がほとんど見られなかったことから、貯蔵性に優れた硬肉種であることが示唆された。



図 1 「モモ福島 17 号」の果実外観（有袋栽培）

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成 27 年度～令和 2 年度
- (2) 研究課題名 県オリジナル果樹品種の育成〔ふくしま農林水産業競争力強化に向けた重点研究事業〕

## 5 主な参考文献・資料

なし